SONY

3-249-773-**05** (1)

カセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TCM-500

Sony Corporation © 2003 Printed in China

品名 カセットコーダー
型名 TCM-500
保証書 T11-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

安全のために

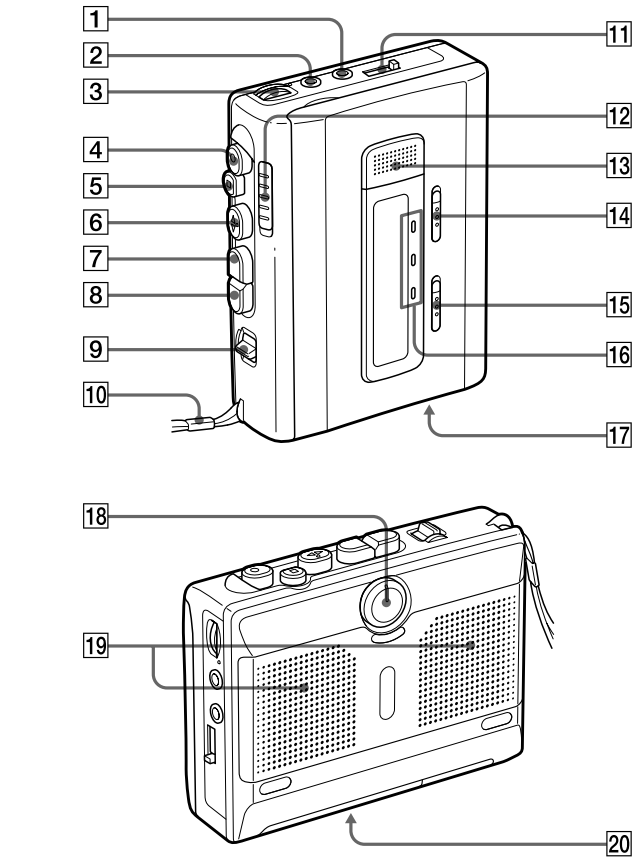
⚠危険

- 乾電池を持ち運ぶときは、コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の＋と－が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

本機の2倍モード(2.4 cm/s)で録音したテープは、2倍モードのないテープレコーダーでは正しく再生できません。

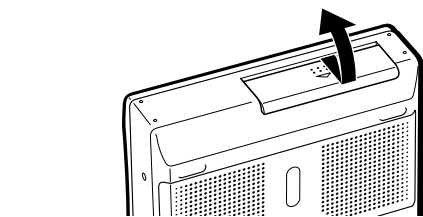
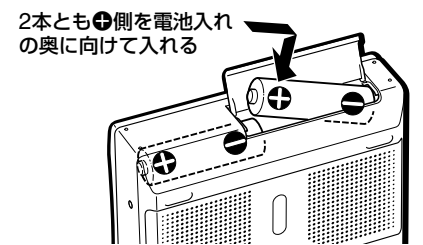
各部のなまえ

1. イヤホンジャック
2. マイク(プラグインパワー)ジャック
3. 音量つまみ*
4. ●録音ボタン
5. ■停止ボタン
6. ◄►再生ボタン**
7. 巻戻し／レビューボタン
8. 早送り／キューボタン
9. ◄反転►スイッチ
10. ハンドストラップ
11. テープカウンター
12. 一時停止━►スイッチ
13. Flat Mic (フラットマイク)
14. 標準／2倍モードスイッチ
15. VORスイッチ
16. 録音、電池、⌧(電池交換お知らせ)ランプ
17. DC IN 3Vジャック
18. スピードコントロールつまみ
19. スピーカー(モノラル)
20. 電池入れ

* 音量「大」の方向に凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。
** ボタンに凸点(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

準備する

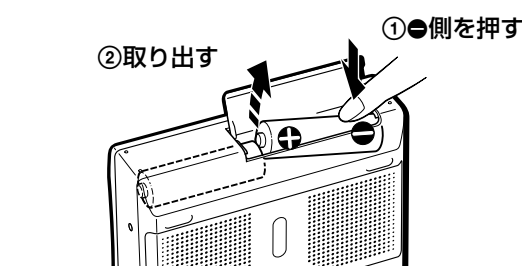
ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」(裏面)をご覧ください。

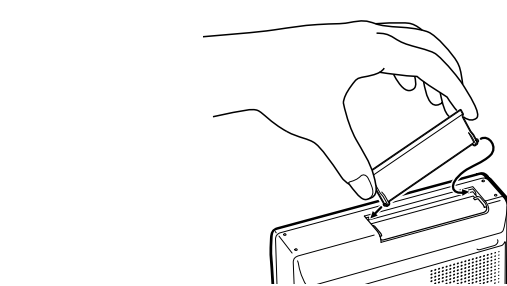
1 乾電池を入れる

①押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる

②単3形乾電池を2本入れる

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意

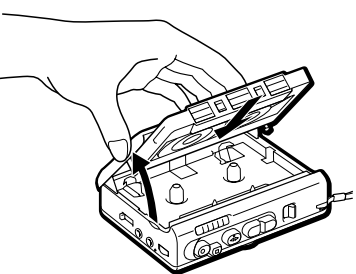
新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは

電池入れのふたがはずれたときは

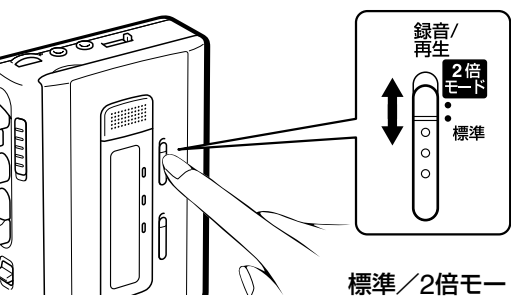
電池入れのふたは、開けるときに過大な力を加えると、はずれるようになっています。はずれた場合は図のように取り付けてください。

録音する

フラットマイク(内蔵マイク)ですぐに録音できます。
録音にはノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。ハイポジションテープ(TYPE II)、メタルテープ(TYPE IV)では正しく録音できない場合があります。

1 カセットを入れる

①手でふたを開ける

②テープのたるみをとってから、録音を始める面をふた側にしてカセットを入れる

③ふたを閉める

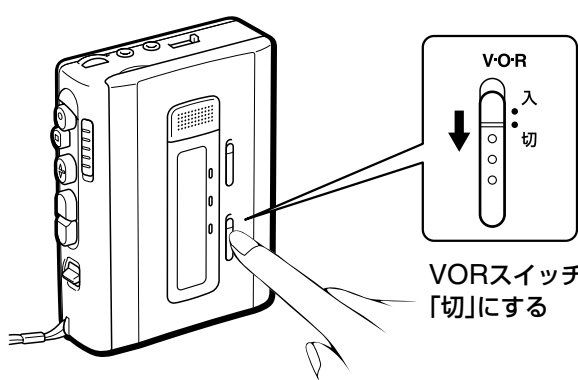
2 録音時間を選ぶ

標準／2倍モードスイッチをどちらかに合わせる

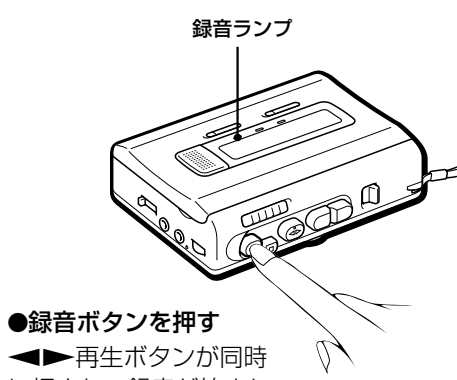
標　　準：(4.8 cm/s) 通常の録音をするとき。「2倍モード」のときより良い音で録音できます。

2倍モード：(2.4 cm/s) テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめできません。
（60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます。）

3 VOR(自動音声録音スタート)機能を「切」にする

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VORスイッチは「切」にしておいてください。VOR機能を使った録音については、「録音の便利な機能を使う」(裏面)をご覧ください。

VORスイッチを「切」にする

4 録音する

発言者の声をフラットマイクで明瞭に録音するために、机の上などの固い面に水平に置いてください。
おもて面から録音が始まり、うら面も続けて録音します(オートリバース)。うら面が終わると自動的に止まります。

●録音ボタンを押す
◄►再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。

録音中は、音の強弱に合わせて録音ランプの明るさが変わります。

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
録音を止める	■停止
一時停止する	一時停止━► 一時停止を解除するには、一時停止━►を元に戻す*
カセットを取り出す	■停止を押してから、手でふたを開ける

* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

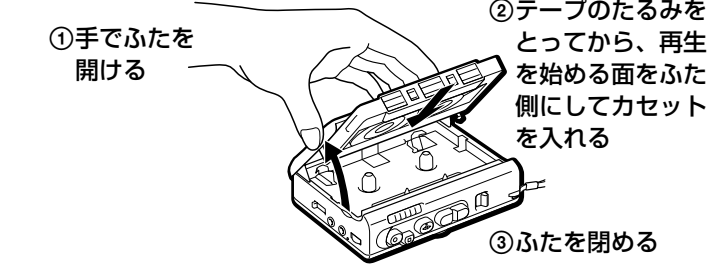
テープを聞く

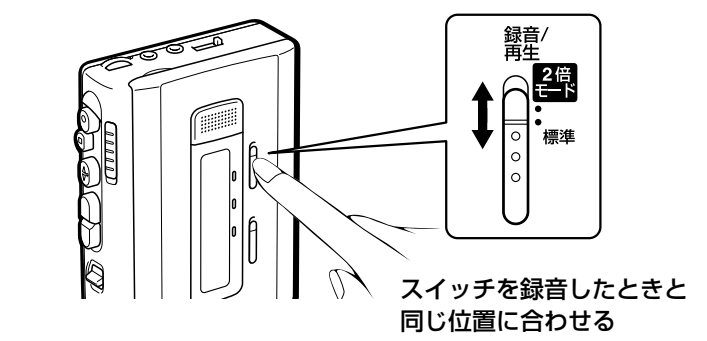
スピーカーから音が聞こえます。ノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。

1 カセットを入れる

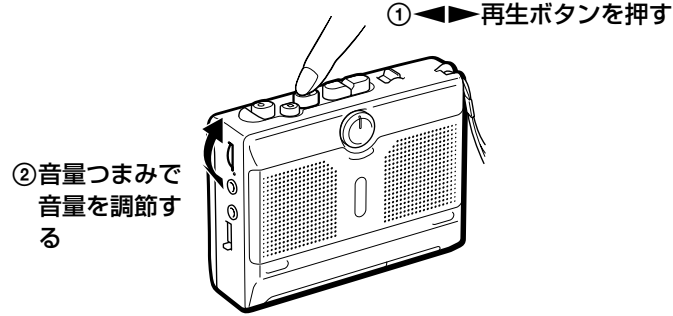
①手でふたを開ける

②テープのたるみをとってから、再生を始める面をふた側にしてカセットを入れる

③ふたを閉める

2 「標準」または「2倍モード」を選ぶ

市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。

スイッチを録音したときと同じ位置に合わせる

3 再生する

おもて面から再生が始まり、うら面も続けて再生します(オートリバース)。うら面が終わると自動的に止まります。

テープ速度がおかしいときは、標準／2倍モードスイッチを確認してください。

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
テープを止める	■停止
一時停止する	一時停止━► 一時停止を解除するには、一時停止━►を元に戻す*
テープのうら面だけを聞く	◄反転►を「うら面」へずらしてから、再生
早送りする**	早送り／キュー
巻き戻す**	巻戻し／レビュー
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中に早送り／キューを押し続ける
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中に巻戻し／レビューを押し続ける
再生面を変える	◄反転►
カセットを取り出す	■停止を押してから、手でふたを開ける

* 一時停止は■停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。
** 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあと、そのままにしておくと電池が急激に消耗するので、必ず■停止ボタンを押してください。

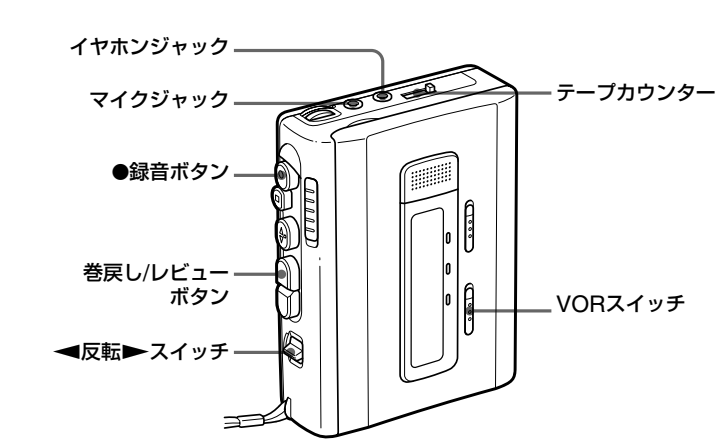
イヤーレシーバーを使って音を聞くときは

付属のイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつないでください。
また、別売りのヘッドホンを使えば、両耳で音を聞くこともできます(ただし、音声はモノラルです)。

キュー／レビュー時のご注意

キュー／レビュー後、以下のように再生に戻らない場合があります。そのときは、いったん■停止ボタンを押してから、◄►再生ボタンを押して、再生を始めてください。

- キュー／レビューをしてテープの端まで巻き取られたとき、ボタンから指を離しても再生にならない。
- 乾電池で使用中、キュー／レビュー後にボタンから指を離すと、⌧が点灯して、再生にならない。

録音の便利な機能を使う

録音する面を選ぶ

両面を続けて録音する

1 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れます。
2 ◄反転►スイッチが「おもて面」であることを確認します。
3 録音を始めます。
おもて面(ふた側の面)の録音が終わると、自動的にうら面(本体側の面)の録音が始まります。(ただし、おもて面からうら面に切り換わる間、数秒間録音がとぎれます)。うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

片面だけを録音する

1 録音を始める面を本体側にしてカセットを入れます。
2 ◄反転►スイッチを「うら面」にします。
3 録音を始めます。
録音はうら面から始まります。うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

ご注意
- 録音する面のツメが折れていないことを確認してください。
- 停止中にふたを開けるとテープの走行方向は自動的におもて面になります。再び操作すると、必ずおもて面を録音します。
- 録音中は◄反転►スイッチは使えません。

テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンター横のリセットボタンを押して「000」にします。録音の頭を探すのに便利です。テープカウンターはおもて面を走行中は数字が増え、うらを走行中は数字が減っていきます。

音がしたとき自動的に録音を始める(VOR機能)

VORスイッチを「入」にしておきます。
●録音ボタンを押すと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間がはぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。
録音中にVORスイッチを「入」にすることもできます。

ご注意
- VOR機能は周囲の環境に左右されます。VORスイッチを「入」にしても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」にしてください。

録音中の音を聞くには

付属のイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。
聞こえる音量は一定で、音量つまみで調整することはできません。録音される音の大きさも一定に保たれます。

後追い録音をする

再生中に●録音ボタンをしっかり押し込むと、そこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く(ワンタッチレビュー)

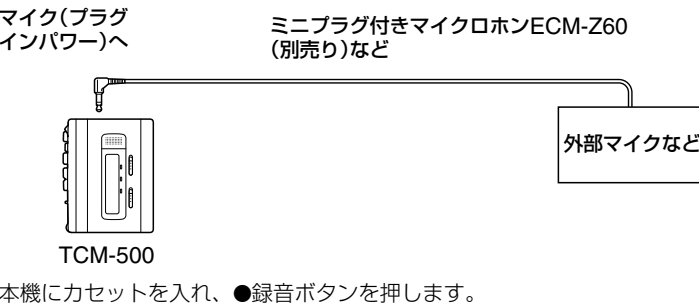
録音中に巻戻し／レビューボタンを押すと、押している間はテープが巻き戻され、手を離すとそこから再生が始まります。

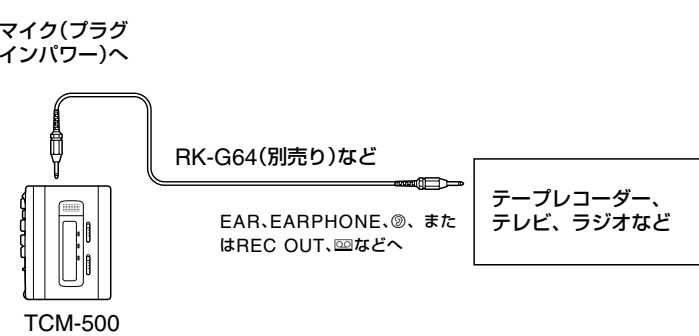
外部マイクや他の機器から録音する

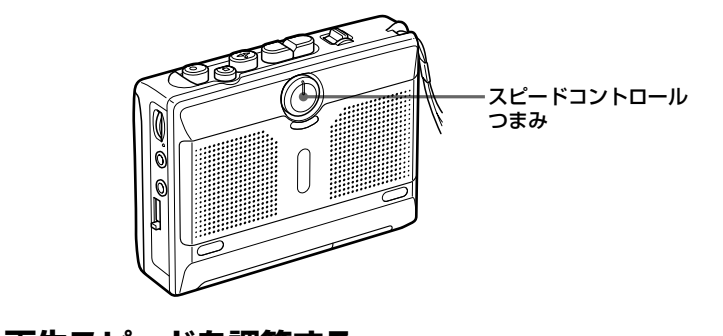
状況に合わせてVOR機能の入/切を選んでから録音を始めます。

ご注意 **録音する前に**
- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下記の接続例ではソニー製品を使用しています。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク(別売り)で録音する

マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

本機にカセットを入れ、●録音ボタンを押します。

他の機器から録音する

1 本機にカセットを入れます。
2 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。(テレビやラジオのREC OUTや▭ジャックなどから録音するときは、その機器で音量を変えても録音には影響しません。)
3 本機の●録音ボタンを押します。

再生の便利な機能を使う

再生スピードを調節する

スピードコントロールつまみを次のように調節してください。

再生速度	つまみの位置
ゆっくり再生する	遅い
通常の速度で再生する	中央
速く再生する	速い

ご注意
録音中はスピードコントロール機能は使えません。

電源について

乾電池を交換する時期

電池が消耗すると、(電池交換お知らせ)ランプが点滅します。
テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりしますので、乾電池は2本とも新しいものと交換してください。
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池	電池ランプが明るく点灯	残量は充分です。
電池	電池ランプが暗く点灯	残量が少なくなってきました。
電池	(電池交換お知らせ)ランプが点滅	乾電池を交換してください。

ご注意
- 早送り(キュー)／巻き戻し(レビュー)中にランプが点滅することがあります。テープが正常に動かないときのみ、乾電池を交換してください。
- 再生中に音量を上げたときなどに、音量に応じて電池ランプとランプがちらつくことがありますが、乾電池を交換する必要はありません。
- ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- テープの動きはじめやテープの終わりでランプが瞬間的に点滅することがあります。ランプがすぐに消えた場合は、乾電池を交換する必要はありません。

乾電池の持続時間*

使用電池	録音時	再生時
ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)**	約22時間	約11時間
ソニーマンガン乾電池R6P(SR)	約7時間	約3時間

* 電子情報技術産業協会(JEITA)の測定方法に基づいています。(ソニーHF シリーズカセットテープ使用、音量7分目程度でミュージックテープをスピーカーで再生した場合)
** 日本製ソニースタミナアルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

ご注意
電池持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

1 ACパワーアダプターAC-E30L(別売り)を本体のDC IN 3Vジャックにつなぎます。
2 ACパワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意
- この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E30L(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

極性統一形プラグ

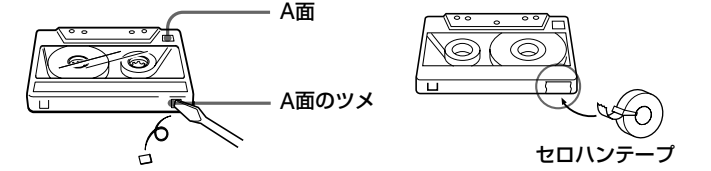
使用上のご注意

録音について

- 録音には、必ずノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。(ハイポジション／メタルテープでは正しく録音されません。)
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使っての録音はできません。
- 内蔵マイクを強く押さないでください。 マイクが変形し、雑音の原因となります。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中はスピーカーから音は出ません。 付属のイヤーレシーバーで聞いてください。
- 録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ビーという音が生じることがあります(ハウリング現象)。この場合は本体とイヤーレシーバーをできるだけ離して使用してください。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると、録音状態にできなくなるので誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。

A面
A面のツメ
セロハンテープ

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  ー直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  ーダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
  ー磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  ーホコリの多いところ。
  ー風呂場など、湿気の多いところ。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。 テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののびが悪くなることがあります。
- エンドレスカセットテープについて
  エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
- 長い間本機を使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。
- イヤーレシーバーをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはソニーの相談窓口に相談してください。

イヤーレシーバーについて

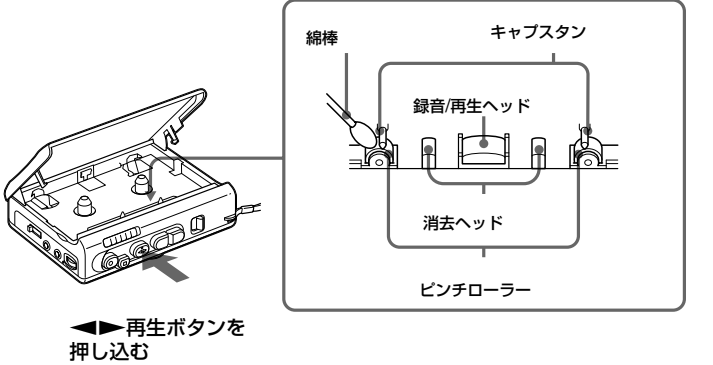
イヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、イヤーレシーバーで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットモノラル
スピーカー	直径36 mm 2個
テープ速度	4.8 cm/s、2.4 cm/sのスピード切り換え(標準／2倍モード切り換え)
周波数範囲*	TYPE I (ノーマル)カセット 350 Hz〜6,300 Hz (標準／2倍モードスイッチ「標準」時)
入力端子	マイク(ミニジャック／プラグインパワー対応) (1) 最小入力レベル 0.2 mV インピーダンス3 kΩ以下のマイク用
出力端子	イヤホン(ミニジャック／モノラル) (1) 負荷インピーダンス 8 Ω〜300 Ωのイヤホン用
実用最大出力(DC時)	スピーカー 450 mW + 450 mW
スピードコントロール可変範囲	約+30 %〜約−15 % (標準／2倍モードスイッチ「標準」時)
電源	DC 3 V、単3形乾電池2本使用 DC IN 3Vジャック(定格3 V) 別売りACパワーアダプターAC-E30Lを接続してAC 100 Vから使用可能。 別売りカーバッテリーコードDCC-E230を接続して12 V/24 V自動車バッテリーから使用可能。
最大外形寸法*	約87.6 mm × 113.0 mm× 37.1 mm(幅/高さ/奥行き)(最大突起部含む)
質量	本体 約215 g ご使用時 約289 g (乾電池(単3形)R6P(SR)2本、カセットテープC-60HFを含む)
付属品	ソニーマンガン乾電池(単3形)R6P(SR) (2)(お試し用**) モノラルイヤーレシーバー (1) 取扱説明書・保証書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)
別売りアクセサリー	ACパワーアダプター AC-E30L(極性統一形プラグ・JEITA規格) カーバッテリーコード DCC-E230 ズームマイク ECM-Z60、タイピン型マイク ECM-T15など 接続コード RK-G64

* 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。
** 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな?

修理に出す前にもう一度お調べください。ご不明な点があるときはソニーの相談窓口へお問い合わせください。

症状	原因／処理
録音できない。	• カセットが入っていない。 • カセットのツメが折れている。→ 録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。 • 乾電池が消耗している。→ 2本とも新しいものと交換する。 • 録音／再生ヘッドが汚れている。→ クリーニングする。
再生できない。	• うら面の状態でテープが終わりまで巻き取られている。→ ◄反転►スイッチをずらしておもて面にする。 • 録音／再生ヘッドが汚れている。→ クリーニングする。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池の⊕と⊖の向きが正しくない。→ 向きを確認して入れなおす。 • 乾電池が消耗している。→ 2本とも新しいものと交換する。 • 一時停止━►スイッチが矢印の方向へずらされている。 • ACパワーアダプターが正しく接続されていない。 • ACパワーアダプターやカーバッテリーコードを本体につないだまま、乾電池で使おうとしている。
スピーカーから音が出ない。	• イヤーレシーバーが差し込まれている。 • 音量が最小になっている。
再生速度が速すぎたり遅すぎたりする。 再生音がおかしい。	• 標準／2倍モードスイッチの位置が、録音時と違う位置にある。→ 反対側に切り換える。 • スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。 • 電池が消耗している。→ 2本とも新しいものと交換する。
音が小さい。 音質が良くない。 雑音が入る。	• 音量が絞られている。 • 乾電池が消耗している。→ 2本とも新しいものと交換する。 • 録音／再生ヘッドが汚れている。→ クリーニングする。 • カセットテープをスピーカーの上に直接置いていた。(直接置くと音質が劣化することがあります。) • ハイポジション、メタルのテープを使っている。 • 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。→ 携帯電話などから離して使用する。
音が不安定で急に音程が狂う。	• 乾電池が消耗している。→ 2本とも新しいものと交換する。 • キャプスタンやピンチローラーが汚れている。→ クリーニングする。
録音が途中で止まる。	• VORが働いている。V0Rを使用しないときはスイッチを「切」にする。
前の音が完全には消えない。	• 消去ヘッドが汚れている。→ クリーニングする。 • ハイポジション、メタルのテープを使っている。
本体作動中にノイズ(カチカチ音)が入る。	• テープカウンターのリセットボタンが誤って押されている。→ もう一度しっかり押して「000」にする。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1